



報道関係各位

中之島フェスティバルタワー竣工披露レセプション開催

2012年11月27日
株式会社朝日新聞社
株式会社朝日ビルディング

朝日新聞社（木村伊量〈ただかず〉社長）が建設していた中之島フェスティバルタワー（大阪市北区中之島2-3-18）の竣工披露レセプションが27日、同タワーで催されました。招待客ら約500人が、水都・大阪の新しいランドマークの誕生を祝いました。同タワーのオープンは28日。商業施設「フェスティバルプラザ」もこの日から営業を始めます。

同タワーの低層部にあるフェスティバルホール内で開かれた披露式典では、木村社長が「朝日新聞は中之島で育まりました。新社屋から、ジャーナリズムの魂を、大阪の元気を、国内へ、世界へと発信していきます」と挨拶。大阪商工会議所の佐藤茂雄（しげたか）会頭が「フェスティバルホールを擁する、文化の発信地・中之島にふさわしいビルです」と祝辞を述べました。上方落語協会の桂文枝会長は「思い出のたくさんある、すばらしいホールが復活して大変うれしい」と祝福しました。鏡開きの後、参加者は37階のパーティー会場へ移り、地上200メートルからの景色を眺めながら歓談しました。

中之島フェスティバルタワーは、高さ200メートルで地上39階、地下3階。1958年に開館した旧フェスティバルホールを建て替え、ホールの上部に朝日新聞大阪本社、テナントオフィスが入るほか、関西初出店となる5店を含め32店と、中之島地区最大の商業集積ゾーン「フェスティバルプラザ」も入ります。28日午前11時から1階の大階段前でテープカットがあり、中之島フェスティバルタワーがオープンします。2013年4月10日には、イタリアのフェニーチェ歌劇場を招いて、フェスティバルホールのこけら落とし公演が行われます。

以上

お問い合わせは

朝日新聞社広報部（大阪） 06-6201-8435